

## 高速道路の平日交通量が昨年より増加 (～中部地区について、高速道路への利用転換が進む～)

・県内直轄国道と沖縄自動車道の平日交通量について、10月17日(火)～19日(木)に調査し、昨年度実施したH17道路 交通センサスの交通量と比較しましたので報告します。

<恩納村～宜野座村の北部、別添A断面において>

・昨年と比べ国道58号は8%増加、国道329号は4%増加、沖縄自動車道は7%増加しておりA断面合計で7%増加しています。

<宜野湾市～中城村、別添B断面において>

・昨年と比べ国道58号は2%減少、国道329号は3%減少、沖縄自動車道は6%増加しておりB断面合計ではほぼ横ばいの状況です。

<豊見城市、別添C断面において>

・沖縄西海岸道路豊見城道路が平成18年2月に部分供用したことにより、国道331号現道部の交通量が昨年と比べ1%減少しています。ただし、断面交通量としては71%増加しています。

<その他>

・那覇空港自動車道(豊見城東道路)の交通量が、昨年と比べ3%増加しています。

### 【考察】

・高速道路について、金武IC～宜野座IC間、西原IC～北中城IC間、那覇空港自動車道(豊見城東道路)間の全区間において、昨年と比べ交通量が増加している。また、中部地区のB断面においては、断面交通量が昨年と比べほぼ横ばいの状況だが、国道の交通量が減少しているのに対し、高速道路の交通量が増加していることから、高速道路への利用転換が進んだものと考えられます。  
理由として、今年10月のETC平均利用率が28.5%と、昨年同月(18.1%)と比べ10%UPしており、ETC利用率の向上が、高速道路の利用促進につながったものと考えられます。

### 【お知らせ】

・11月25日(土)に北中城村喜舎場において、沖縄県で初のETC専用スマートICの社会実験が開始されます。本社会実験の開始により、更なる高速道路の利用促進が図られるものと考えています。

平成18年11月13日

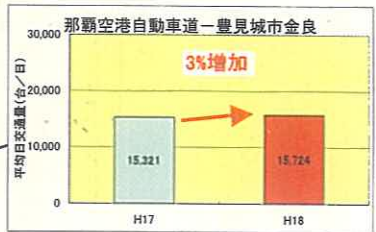
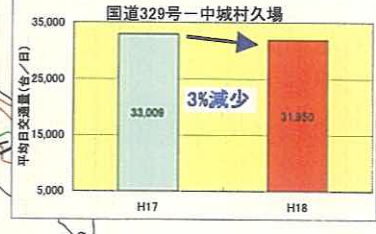
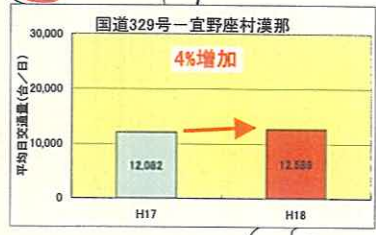
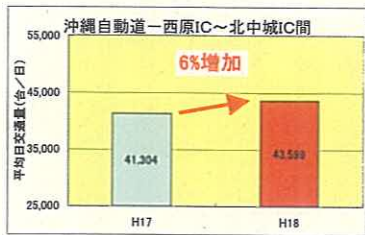
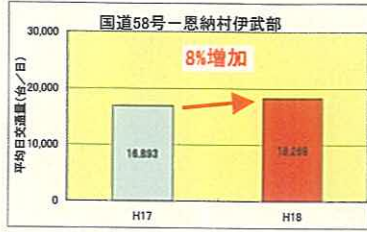
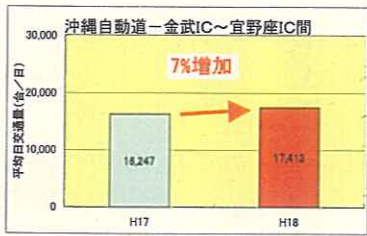
問い合わせ先：沖縄総合事務局開発建設部道路建設課

課長 田中 衛  
道路計画調整官 喜舎場 正秀

電話 098-866-0091 (直通)

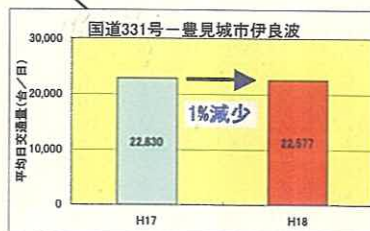
# 平日交通量について

(対平成17年道路交通センサスの交通量との比較)



沖縄西海岸道路  
豊見城道路  
(瀬長~豊崎)  
H18.2部分供用

C断面



各断面の合計交通量の増減

- A断面合計交通量: 前年度比 7%増加
- B断面合計交通量: 前年度比 ほぼ横ばい
- C断面合計交通量: 前年度比 71%増加